



科研製薬株式会社 東証プライム 4521

# 個人投資家様向け説明会

2026年7月12日

# 注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。
- 有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- パイプラインは、現時点の開発計画に基づいて作成しております。
- 開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。
- 医薬品(開発中を含む)に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。



## 代表取締役社長

### 略歴

|           |                  |
|-----------|------------------|
| 1984年 4月  | 科研製薬株式会社 入社      |
| 2010年 10月 | 広島支店長            |
| 2014年 4月  | 大阪支店長            |
| 2015年 7月  | 執行役員 大阪支店長       |
| 2016年 6月  | 取締役 医薬営業部長       |
| 2017年 4月  | 取締役 営業本部長        |
| 2018年 6月  | 常務取締役 営業本部長      |
| 2020年 6月  | 代表取締役社長就任(現在に至る) |

出身地 : 大阪府

# Agenda

- 1 基本情報
- 2 事業概要
- 3 科研製薬の成長戦略
- 4 株主還元

# 1

## 基本情報

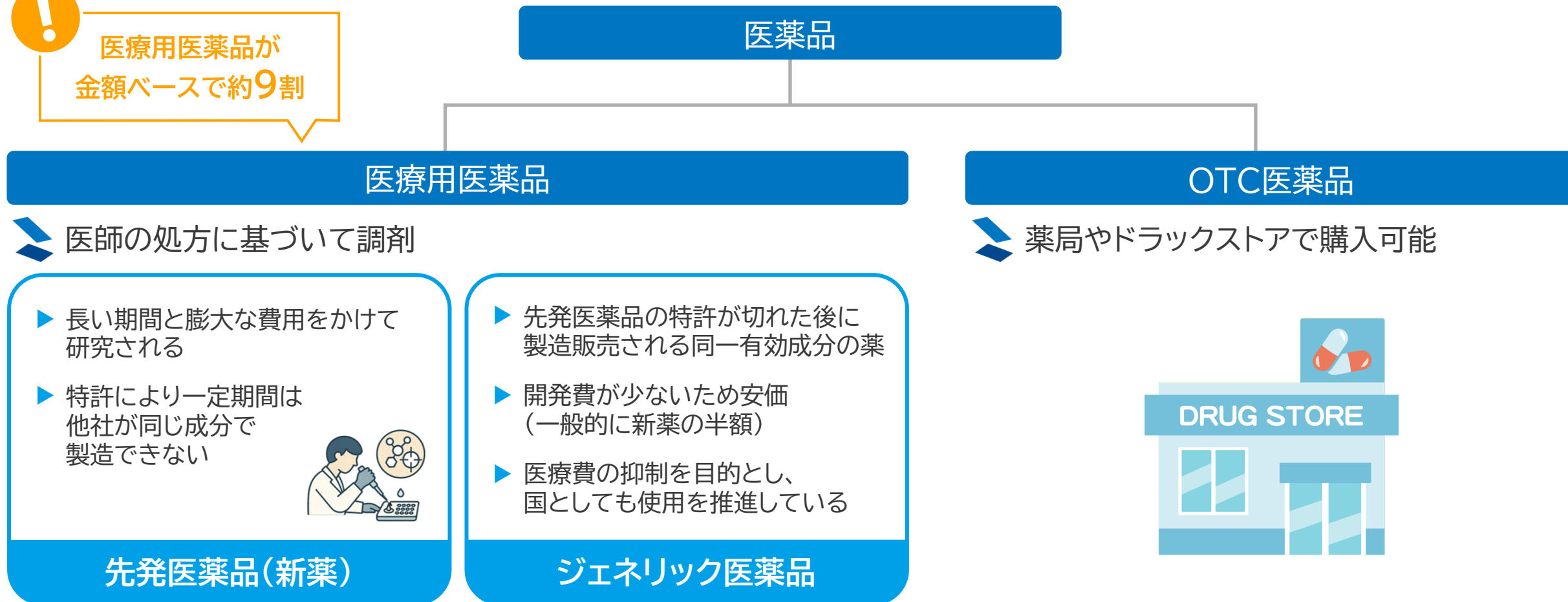
# 国内医薬品事業の環境

## 医薬品

医薬品は、大きく分けて**医療用医薬品**と**OTC医薬品**の2つに区分されます。



医療用医薬品が  
金額ベースで約**9割**



# 会社概要

科研製薬は、自社ならではの強みを活かし、皮膚科・整形外科領域を中心に、患者さんのクオリティ・オブ・ライフ(QOL)向上を実現する研究開発型の製薬企業です。

## 企業理念

一人でも多くの方に笑顔を取りもどしていただくために  
優れた医薬品の提供を通じて患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上につとめる。



設立

1948年3月

2026年で78周年



連結従業員数

1,114名

(連結・2026年3月31日現在)



資本金

23,853百万円

(2026年3月31日時点)



時価総額

約1,697億円

(2026年6月30日時点)



連結子会社数

4社



本社所在地

東京都文京区

## 科研ファルマ株式会社 (非上場)



化粧品

その他、医薬品原料・試薬など



健康食品



※イラストはイメージです。

## ARTham Therapeutics (非上場)

- 2021年12月 M&A
- 開発品KP-001の獲得  
(旧開発コード:ART-001)

## Aadi Bioscience, Inc. (非上場)

- 2025年3月 M&A
- 米国自社販売基盤の獲得
- 販売品FYARROの獲得

## KAKEN INVESTMENT, Inc.

買収手続きのために設立した会社



# ロケーション



新薬創生センター  
(京都事業所)

新薬創生センター  
(静岡事業所)  
CMCセンター

静岡工場



本社



科研ファルマ株式会社  
ARTham Therapeutics株式会社



アーディ社

2025年3月子会社化

# 科研製薬のあゆみ

1940年代

1950年代

1960年代

1970年代

1980年代

## 1948年

財団法人理化学研究所をルーツに、  
株式会社科学研究所としてスタート



初代社長は  
現代物理学の父と称される  
「仁科芳雄」

## 1970年代

新製品を相次ぎ上市



抗炎症・鎮痛・解熱剤  
「ブルフェン」

※一般名:イブプロフェン



国内で最初に  
イブプロフェンの  
医療用医薬品を発売

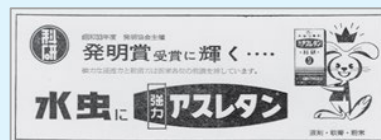


後樂園球場に看板広告を  
出していました



## 1960年代

「水虫薬の科研」としての  
企業イメージを確立



水虫薬  
「アスレタン」

## 1982年

株式会社科学研究所と  
科研薬化工が合併して、  
「科研製薬株式会社」に社名変更



科研製薬株式会社

# 科研製薬のあゆみ

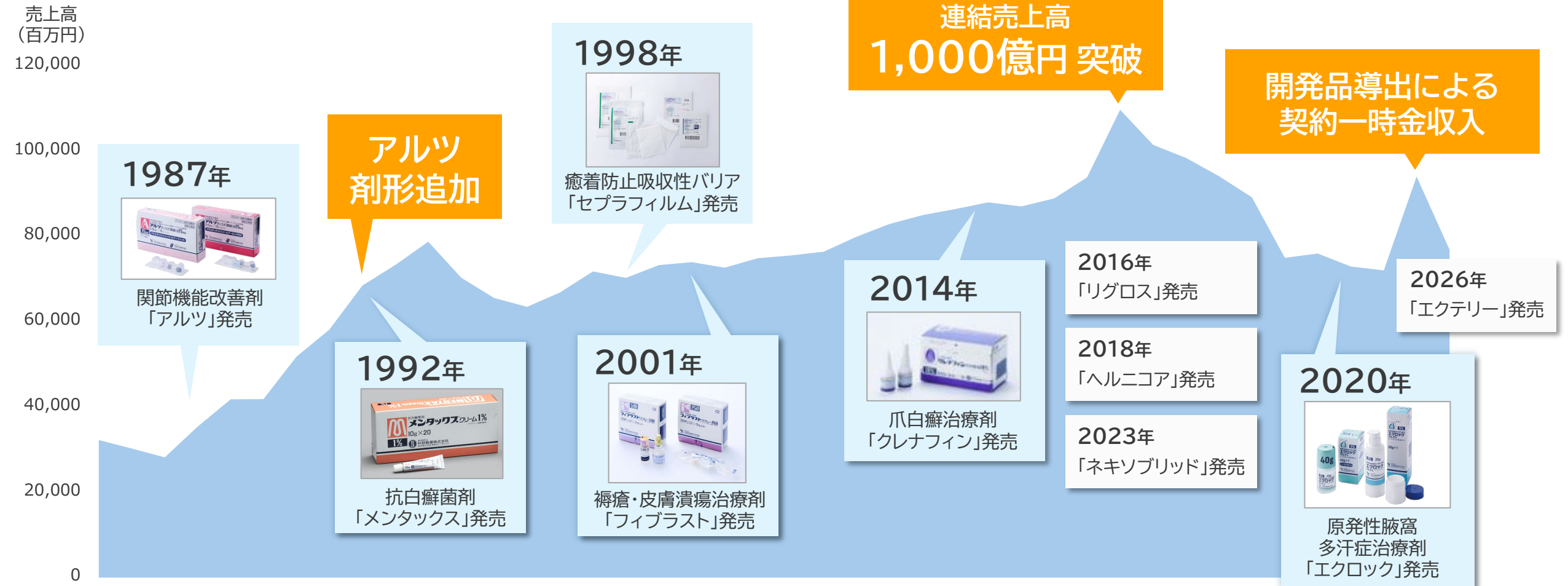
1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代以降



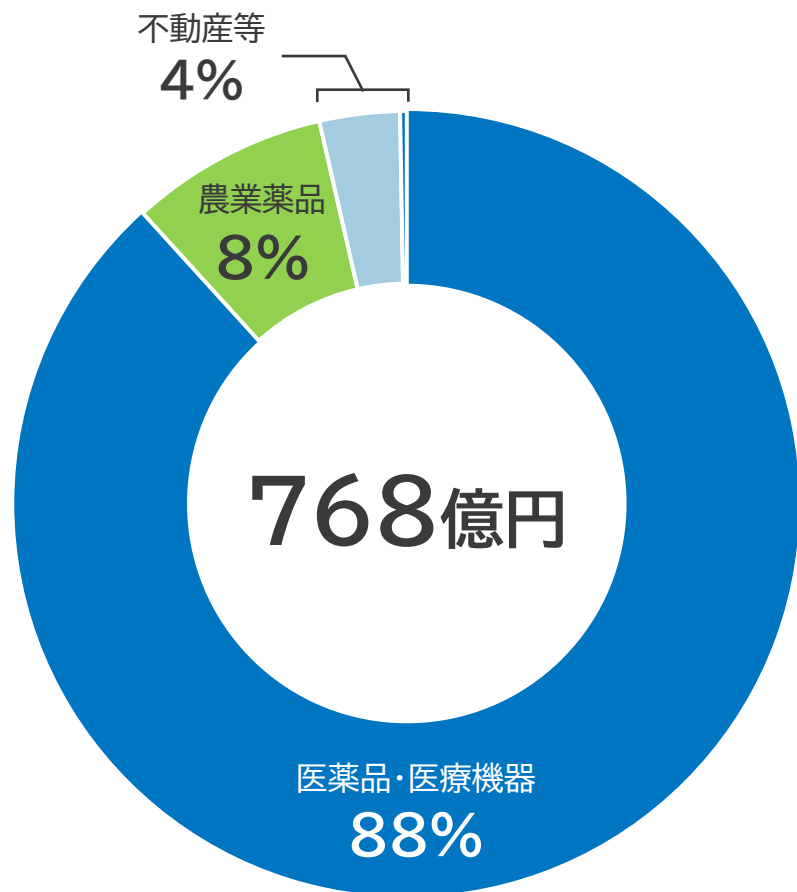
# 2

## 事業概要

# 事業概要

主な事業内容：医薬品、医療機器、農業薬品、飼料添加物の製造・販売、及び不動産の賃貸

## 2026年3月期 連結売上高



## 医薬品・医療機器

### 国内

皮膚科・整形外科領域が中心



爪白癬治療剤  
「クレナフィン」



関節機能改善剤  
「アルツ」

### 海外

北米やアジア等の国・地域への  
導出や、子会社による販売



希少がんPEComa治療剤  
「FYARRO」

## 農業薬品

環境負荷の少ない農業薬品、  
飼料添加物、動物薬など



## 不動産

本社ビル関連の賃貸料



## クオリティ・オブ・ライフに貢献する医薬品を提供する

日本初・世界初の製品をはじめ画期的な新薬を提供

### 皮膚科領域



#### クレナフィン

日本初となる  
外用爪水虫治療剤



#### フィブラスト

世界初のヒトbFGF  
(線維芽細胞成長因子)製剤



#### エクロック

日本初の保険適用の  
わき汗の外用剤

### 整形外科領域



#### アルツ

世界初のヒアルロン酸関節注射



#### ヘルニコア

日本初の椎間板内酵素注入療法

### その他



#### セプラフィルム

手術後の癒着による合併症を軽減  
するための当社唯一の医療機器



#### リグロス

世界初となる保険適用の  
歯周組織再生医薬品



:世界初



:日本初



# 科研製薬の強み 皮膚科領域：爪白癬外用治療剤「クレナフィン」



外用の爪白癬(爪の水虫)治療剤。自社創薬品。  
2025年9月より当社子会社がオーソライズド・ジェネリック(AG)  
を発売している。

2025年度 売上  
**132億円**

## 爪白癬(つめはくせん) 推定患者数：945万人※1

こんなふうに、爪は濁っていませんか？  
日本人の**13人に1人**は爪白癬と言われています。



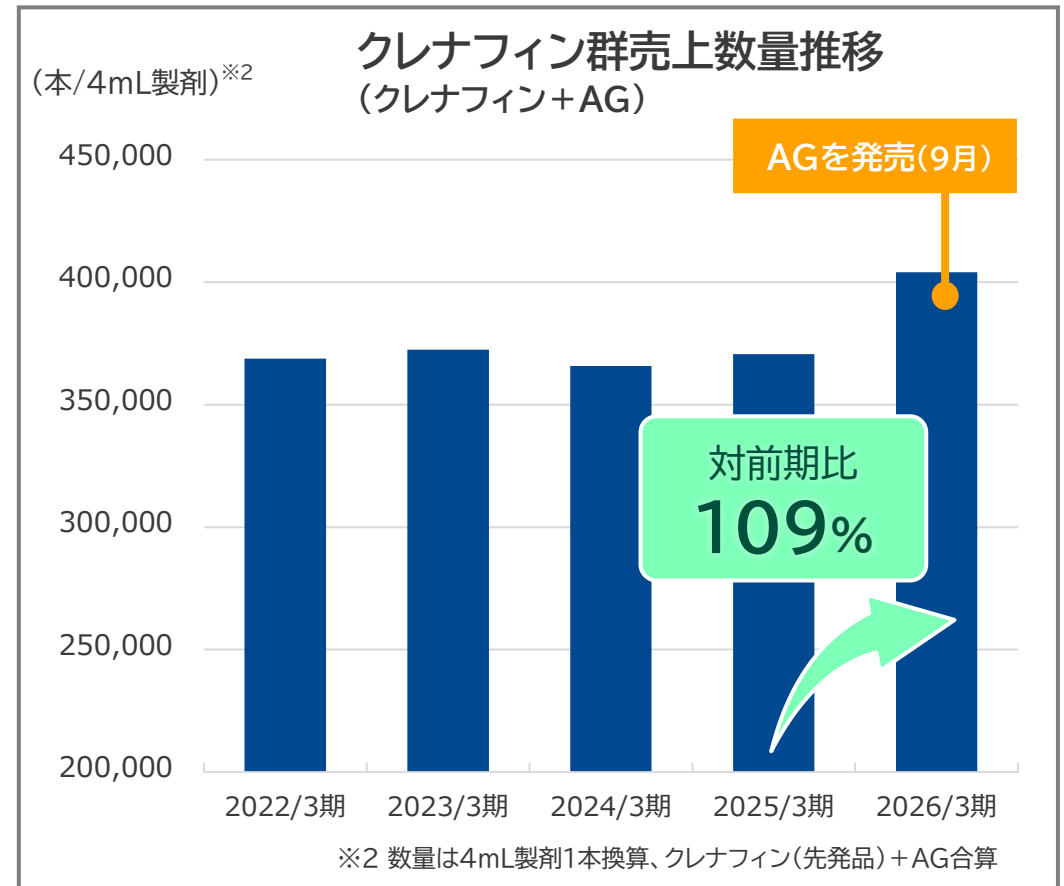
写真：常深祐一郎先生ご提供

※1 2026年5月1日現在、総務省統計局 人口推計をもとに自社推計



### オーソライズド・ジェネリック(AG)とは

先発医薬品メーカーから許諾を得て製造した、ジェネリック医薬品です。クレナフィンのAGはラベル以外先発医薬品と同じですが、価格は半分です。



# 科研製薬の強み 皮膚科領域:原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」



日本初の保険適用を受けた原発性腋窩多汗症治療用外用剤。

2025年度 売上  
23億円

## ▶ 原発性腋窩多汗症

推定患者数：614万人※1

日常生活に困るほど左右両方のワキの汗が多くなる病気です。

多くの人が悩んでいるが、病気として認識されていないことも多い。  
日本人の約5.9%、およそ20人に1人がワキ汗に悩んでいると考えられています。

疾患啓発活動や新たな治療選択肢の登場を背景に、多汗症市場は拡大している。

※1 2026年5月1日現在、総務省統計局 人口推計をもとに自社推計

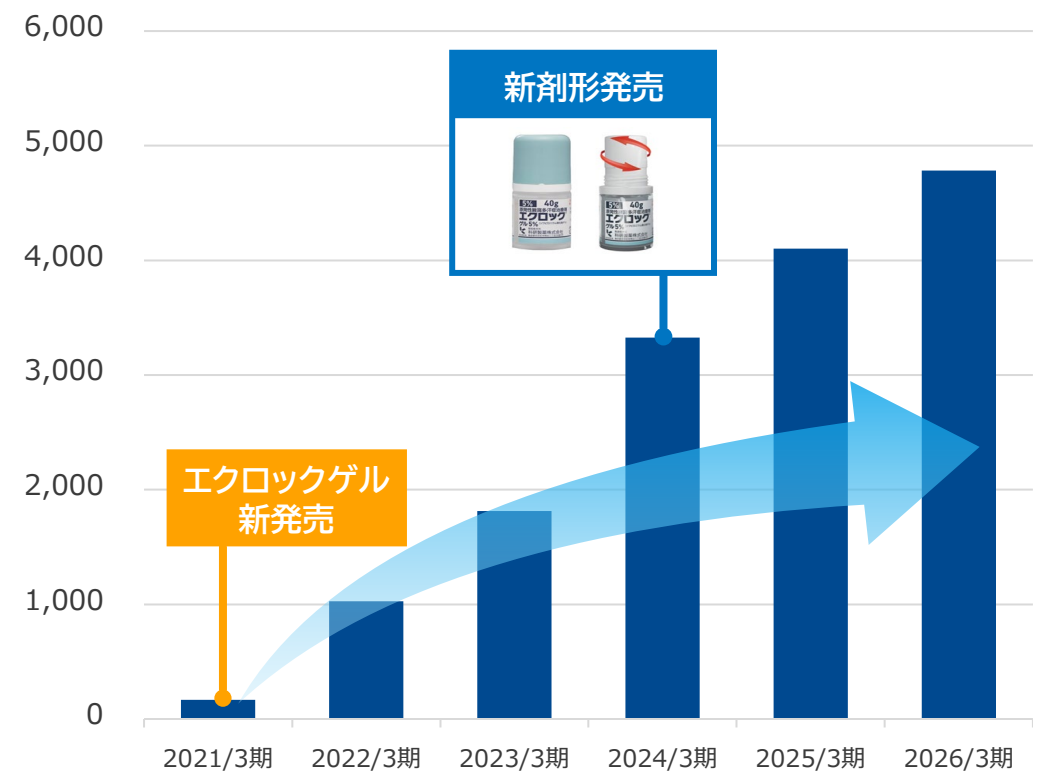
就労者および専業主婦の生産性に対する  
腋窩多汗症の影響額の全国推計※2

腋窩多汗症による  
生産性損失 3,120億円/月



※2 Murota H, et al.: J Dermatol. 2021;48(10):1482-1490.

## 原発性腋窩多汗症外用治療剤市場



出典: Copyright © 2026 IQVIA. JPM 2021/3MAT-2026/3 をもとに自社分析、無断転載禁止



# 科研製薬の強み 整形外科領域：関節機能改善剤「アルツ」



関節内に直接注入するヒアルロン酸注射。  
1987年の発売以来、約40年にわたり多くの医師にご使用  
いただいている、ヒアルロン酸関節注射の代表的な製品。

2025年度 売上  
**184億円**

## 変形性膝関節症 国内推定患者数：約2,530万人※1

- 加齢や肥満、太ももの筋力の衰えなどが原因でひざ関節の軟骨がすり減り、関節に炎症や痛みが生じる病気。
- 中高年や女性に多い。

## 肩関節周囲炎

- 骨や関節が老化して、肩関節周囲の組織に炎症が起こる。
- 五十肩とも言われる(50歳ぐらいから症状が出てくる)。

※1 ROAD Study(Muraki et al., Osteoarthritis Cartilage 2009)

国内におけるアルツ販売累計本数



# 科研製薬の強み 疾患啓発

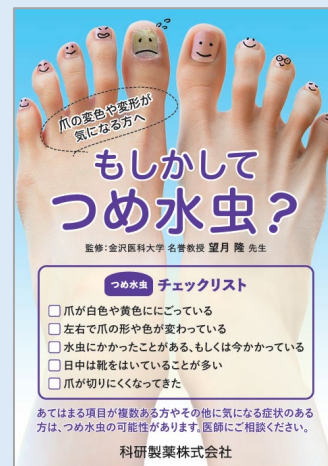
## 疾患啓発の取り組み

当社では、爪水虫やワキ汗など、患者さんのQOLに影響を与えながらも、病気として認知度の低い疾患に対し、疾患啓発活動に取り組んでいます。



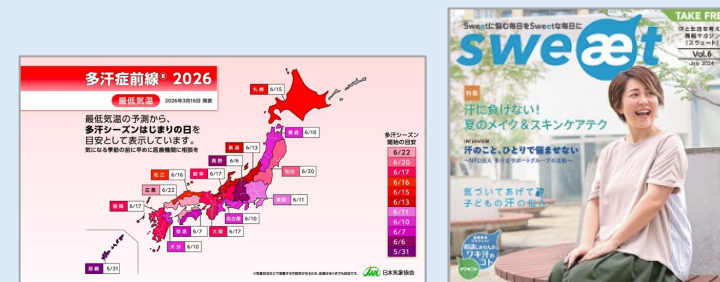
### SNSやアプリケーションの活用

- ▶ X「汗かき指数」を毎日投稿
- ▶ 楽天シニアへのコラム掲載
- ▶ Instagramへの疾患啓発広告
- ▶ 農業新聞への記事掲載



### 新聞や資料の活用

- ▶ 学校教育向け資料
- ▶ 疾患啓発の指導箋の充実
- ▶ 日経新聞へ疾患啓発記事の掲載



日本気象協会

患者会

### 学会や他社製薬会社との連携

- ▶ 汗で病院あたりまえに委員会発足
- ▶ 患者会と共同で月刊誌「sweæt」の作成
- ▶ 日本気象協会と多汗症前線発表

# 3

## 科研製薬の成長戦略

# サステナビリティの取り組み ～事業に関わるマテリアリティ～

## アンメットメディカルニーズを満たす画期的新薬の創出



新薬開発型企业として、画期的新薬の創出により、健康寿命延伸に継続的に貢献。

## 医療/医薬品へのアクセス拡大



医薬品の  
グローバル展開



積極的な  
疾患啓発活動

## 医薬品情報の適切な提供

高い倫理観と科学的根拠に基づく  
販売情報提供活動を推進

## 医薬品の安定的・持続的供給



高品質な医薬品を  
安定的・持続的に供給

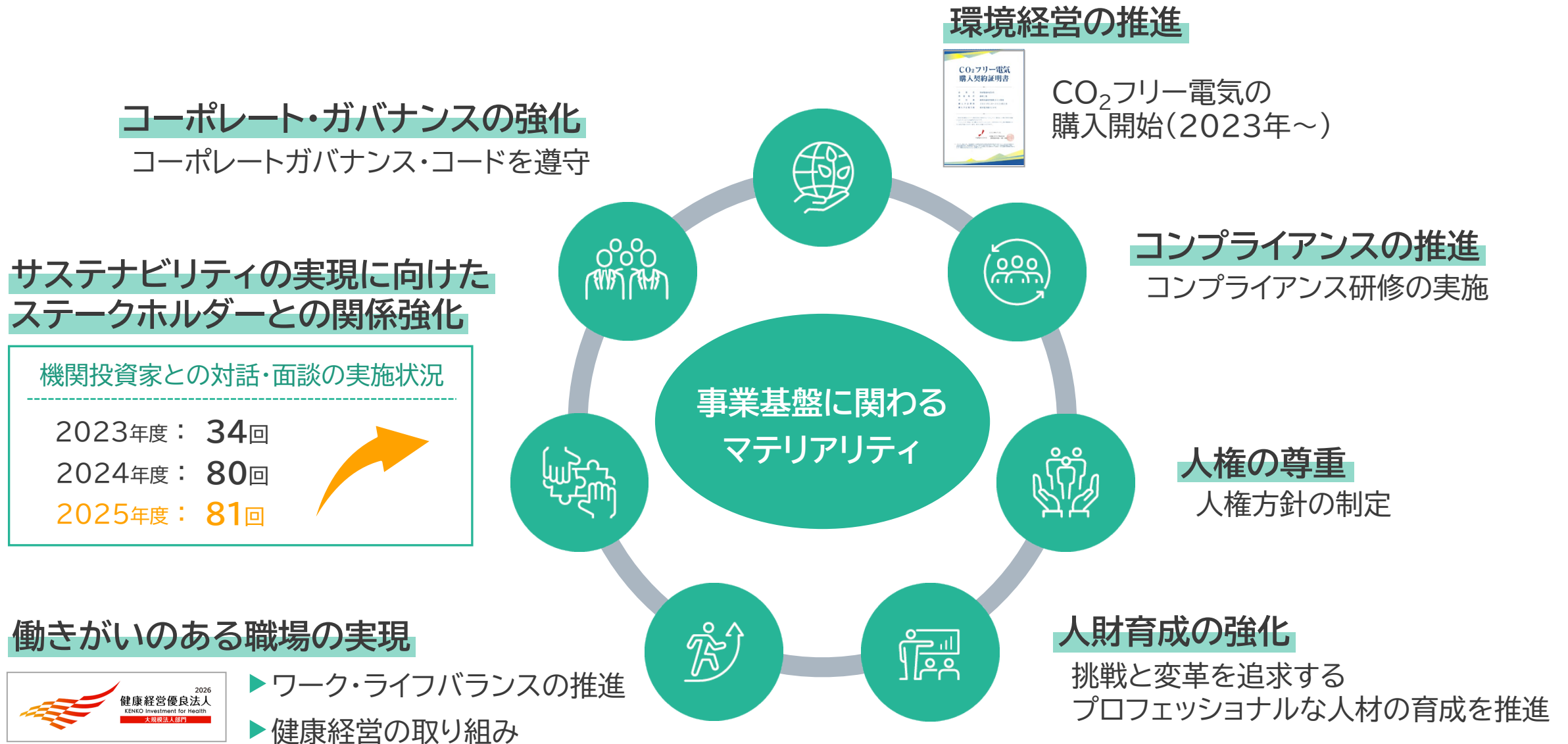
## 持続可能な農業への貢献



環境と調和のとれた  
持続可能な農業の発展に貢献



# サステナビリティの取り組み ～事業基盤に関わるマテリアリティ～



# 2031年に向けたビジョン「長期経営計画2031」

## VISION

VISIONの  
実現に向けた戦略

- 1. 画期的新薬の迅速な創出・提供により健康寿命延伸に貢献し続ける企業
- 2. 皮膚科、整形外科領域を中心にグローバルに展開する創薬企業

### “3Xs” ~3つのTransformation~



2022年度 2023 2024 2025 2026年度 2027 2028 2029 2030 2031年度

長計一部見直し

#### 2031年度 業績目標

|         |         |
|---------|---------|
| 売上高     | 1,000億円 |
| 営業利益    | 285億円   |
| ROE     | 10%以上   |
| 海外売上高比率 | 30%以上   |



# 研究開発の基本方針

## 重点創薬3領域を中心に世界に通ずる画期的新薬を継続的に上市

### 目標

- ▶ 10年間で8品目上市するためのパイプラインの確保(P1以降プロジェクトを常時8品目以上)
- ▶ 毎年1品目以上の開発導入品or販売提携品を確保(10年で10品目、うち海外展開5品目)

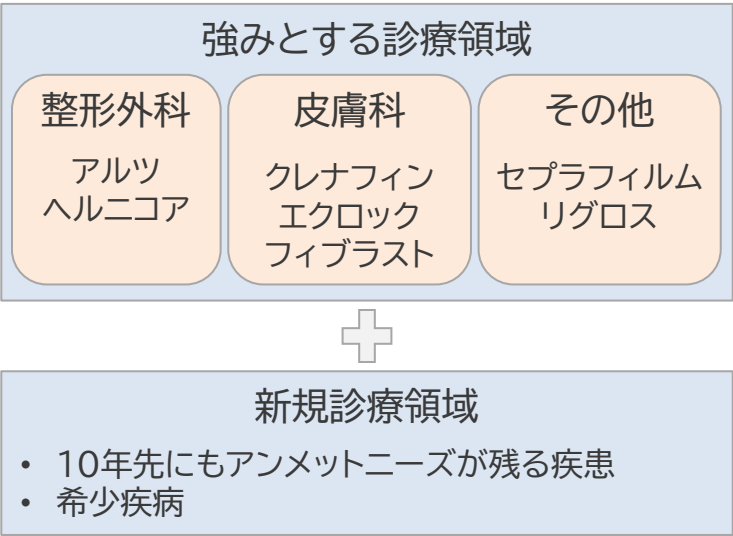
### 自社研究基盤の活用

- ✓ 重点創薬3領域(免疫系、神経系、感染症)を中心とし、自社研究基盤を強化する



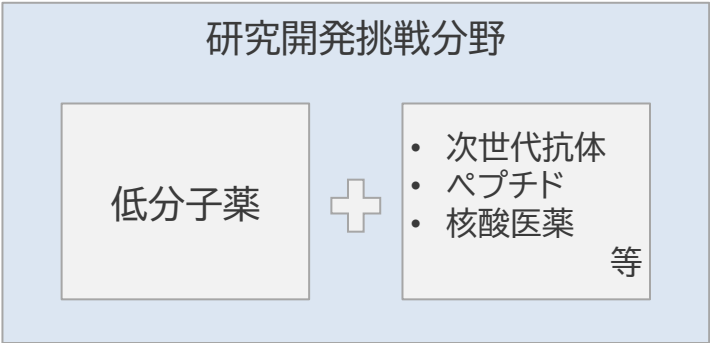
### 新規診療領域への展開

- ✓ 将来のアンメットメディカルニーズを捉えて新たに強みとなる診療領域に展開する



### 新たなモダリティへの挑戦

- ✓ 従来の低分子医薬では狙うことが困難であった創薬ターゲットに対するアプローチを可能とする





# 新規診療領域への展開 ～希少疾患領域の取り組み～

## 1st X 研究開発 Transformation

### VISION

重点創薬3領域を中心に世界に通ずる  
画期的新薬を継続的に上市

### 施策

#### パイプラインの拡充

- ▶ 導入の拡大
- ▶ 開発早期における外部活用アプローチ
- ▶ 積極的な適応拡大・リポジショニング

## 新規診療領域への展開

- ✓ 将来のアンメットメディカルニーズを捉えて新たに  
強みとなる診療領域に展開する

### 強みとする診療領域

#### 整形外科

アルツ  
ヘルニコア

#### 皮膚科

クレナフィン  
エクロック  
フィブラスト

#### その他

セプラフィルム  
リグロス



### 新規診療領域

- 10年先にもアンメットニーズが残る疾患
- 希少疾患

## 🧬 希少疾患領域への取り組み

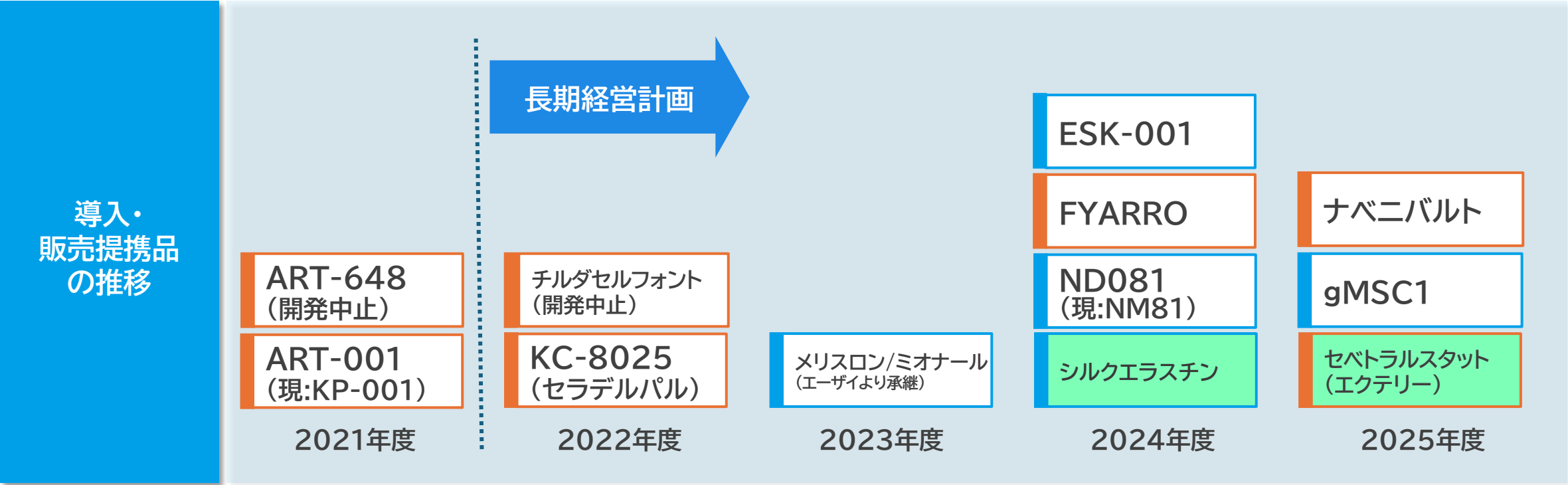
- ▶ 医療ニーズの充足と社会貢献につながる
- ▶ 競争力の維持・強化につながる

希少疾患を抱える患者さんにとって、新たな治療選択肢は必要不可欠であり、  
当社は画新的な医薬品の開発を推進し、治療薬を届ける責務を果たしていきたい。

# 導入・販売提携品の推移

- 「長期経営計画2031」公表後、2026年3月末時点で10品目の導入を実施
- パイプライン数は、長期経営計画の公表以降、着実に増加

■:承認済み    □:希少疾患



※ シルクエラスチンは販売準備中です。

# パイプライン状況

2026年5月13日時点

|                | プロダクト   | 予定適応症                                                                                                    | P I         | P II        | P III | 申請中              | 承認                                      |
|----------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|-------|------------------|-----------------------------------------|
| 自社創薬           | KP-001  |  難治性脈管奇形 <span>希</span> |             |             |       | <div></div>      |                                         |
|                | KP-001  |  固形がん                   |             |             |       | <div></div>      |                                         |
|                | KP-483  | 末梢性神経障害性疼痛                                                                                               | <div></div> | 以降は導出も考慮    |       |                  |                                         |
|                | KP-910  | アタマジラミ症                                                                                                  | <div></div> | 以降は導出も考慮    |       |                  |                                         |
| 導入品・提携パートナー開発品 | KAR     | 尋常性乾癬                                                                                                    |             |             |       | <div></div>      |                                         |
|                | ESK-001 | 汎発型膿疱性乾癬<br>／乾癬性紅皮症                                                                                      |             |             |       | <div></div>      |                                         |
|                | KC-8025 | 原発性胆汁性胆管炎 <span>希</span>                                                                                 |             |             |       | <div></div>      |                                         |
|                | ナベニバルト  | 遺伝性血管性浮腫 <span>希</span>                                                                                  |             |             |       | <div></div>      |                                         |
|                | gMSC1   | 軟骨欠損を伴う<br>変形性膝関節症                                                                                       |             |             |       | <div>P3準備中</div> |                                         |
|                | NM26    | アトピー性皮膚炎                                                                                                 |             | <div></div> |       |                  | アトピー性皮膚炎を対象としたP II 試験はJ&Jより中止が発表されています。 |

希 : 希少疾患

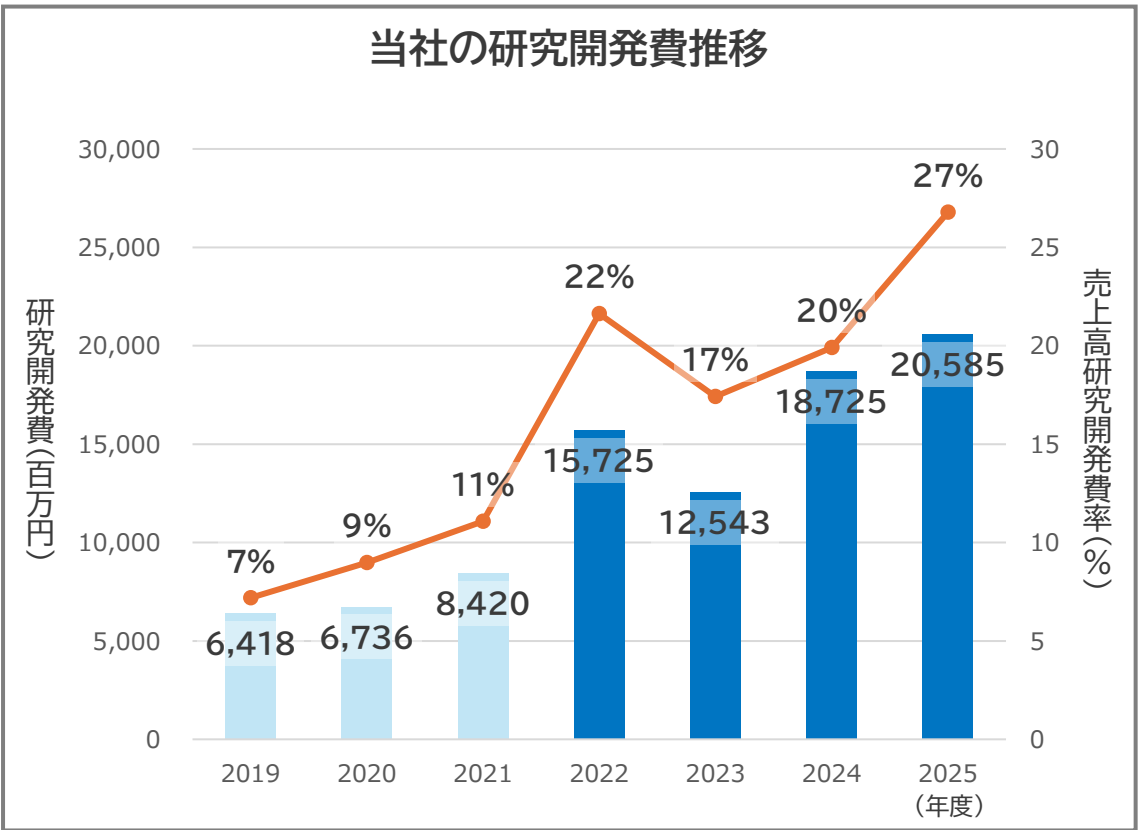
※ ジョンソン・エンド・ジョンソン社(J&J社)とライセンス契約を締結した「KP-723」(STAT6阻害剤)は、当社がP I 試験完了まで進めます。  
※ 予定適応症におけるすべての治療法を含む

# 研究開発への積極投資

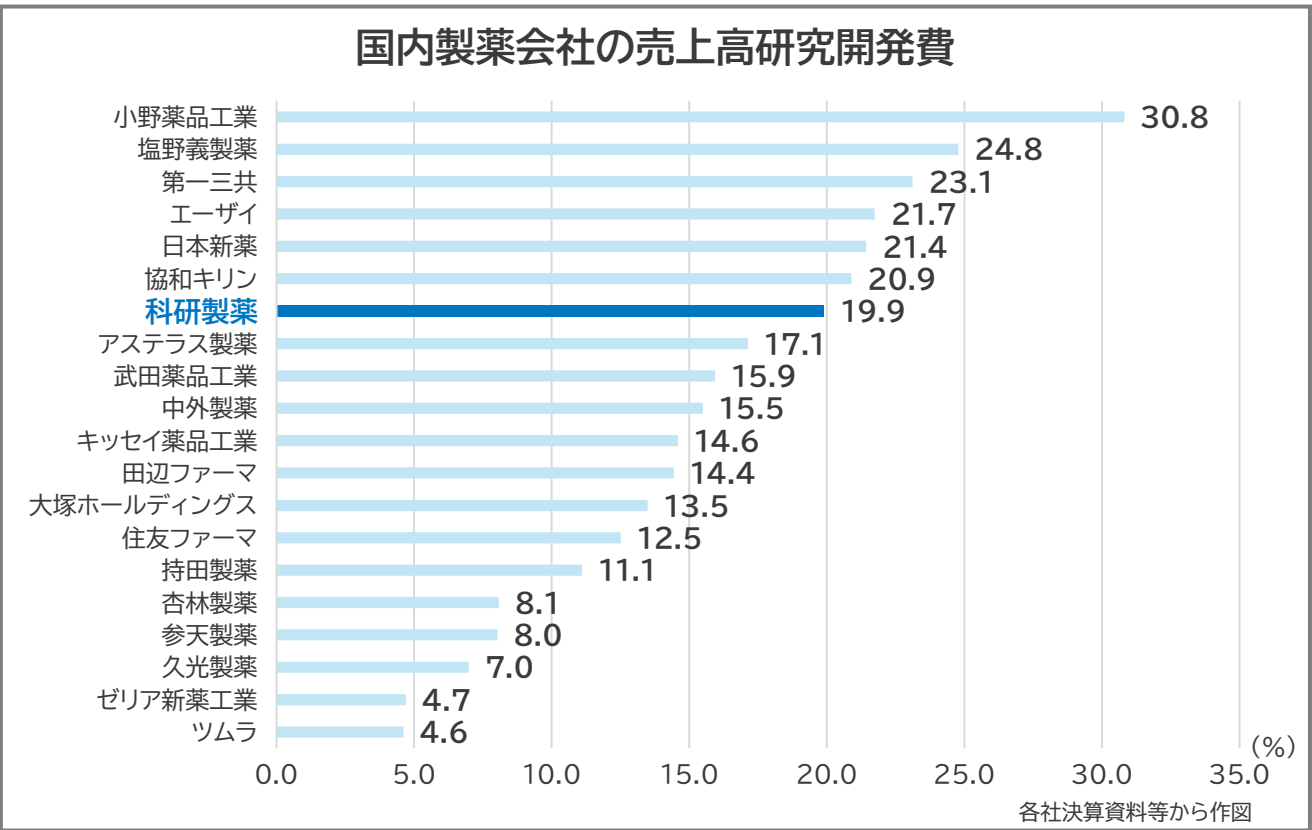


- ▶ 研究開発等投資額として10年間で、2,600億円  
(うち、パイプライン拡充に向けたM&A、導入等の費用として900億円)を設定
- ▶ 研究開発早期からの外部連携
  - ・ シーズ探索:アカデミア・ベンチャーコンソーシアムの活用 等
  - ・ 共同研究/開発・導入:国内外医薬品関連企業との協業・M&A 等

当社の研究開発費推移



国内製薬会社の売上高研究開発費



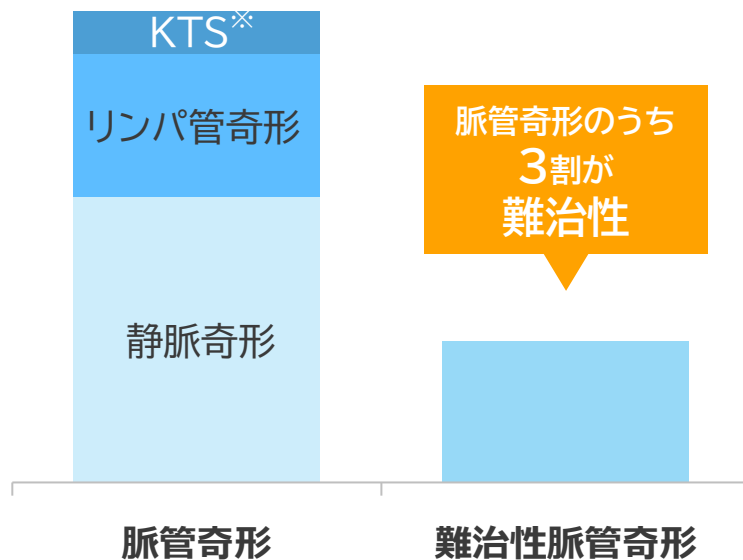
# 自社開発品 KP-001

## 脈管奇形

脈管奇形は小児期から生涯にわたる治療を必要とする疾患。  
既存治療が無効または適応不可な場合に、難治性脈管奇形と診断される。



### 国内患者数



※ KTS:クリッペル・トレノネー症候群

### 既存治療



### 上市スケジュール

- ▶ 2026年3月  
オーファンドラック認定
- ▶ 2026年5月  
国内製造販売承認申請
- ▶ 2027年度上期  
国内製造販売承認取得予定

# Johnson & Johnsonへの開発品導出

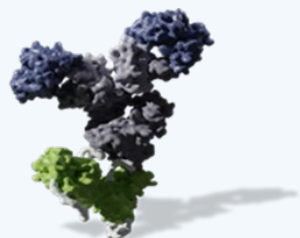
➤ 科研製薬が培ってきた創薬力で、大型導出が実現

## Johnson & Johnson

### NM26

ニューマブ社と共同開発した2重特異性抗体

- ▶ 契約一時金8,600万ドル受領
- ▶ 最大マイルストーン2億5,240万ドル  
+ロイヤリティ収入



※ NM26のアトピー性皮膚炎を対象としたPⅡ試験は中止が発表されています。

### KP-723

2型炎症性疾患(アトピー性皮膚炎や喘息など)  
を対象にしたSTAT6阻害薬(低分子薬)

- ▶ 契約一時金3,000万ドル受領
- ▶ 最大マイルストーン12億ドル+ロイヤリティ収入



本契約の規模は、  
1948年の科研製薬の創業以来、**最高額**

# 科研製薬の海外展開

## クレナフィン

- ▶ 日本を含め8カ国で製造販売承認を取得

導出先企業からのロイヤリティ収入＋原体等の輸出

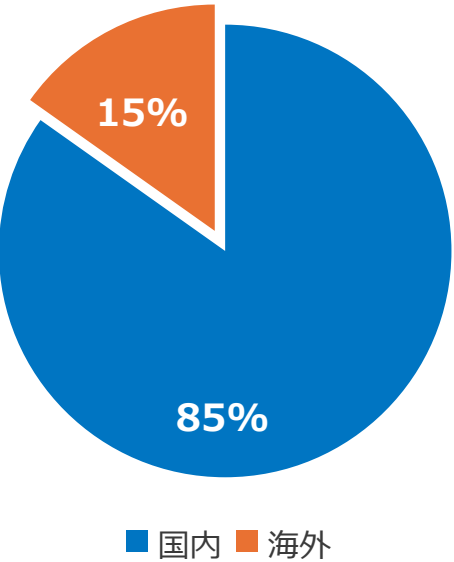
## エクロック

- ▶ 2026年1月韓国で導出先企業が販売開始

## FYARRO

- ▶ 米国子会社Aadi社が発売する希少がん治療薬
- ▶ 欧州展開を検討中

医療用医薬品 海外売上高  
(2025年度)





# 海外販売体制の構築のための米国企業M&A

## 米子会社Aadi社との連携により、グローバル展開を加速



- ▶ 2025年3月26日、Aadi Bioscience, Inc. を買収
- ▶ 希少がんの製品「FYARRO」を有しており、希少疾病領域の販売基盤を持つ
- ▶ KP-001の海外自社販売体制の構築へ向けた取り組み

### FYARRO(ファイアロ)

#### 血管周囲類上皮細胞腫瘍(PEComa)治療剤

↓  
軟部組織肉腫として知られる特定の種類の癌。  
発現頻度は、100万人に1人の希少疾患。

- ▶ 米国PEComa患者のシェアは8割以上で、安定したシェア。



### 買収により期待できる効果

- ▶ 長期経営計画2031における2nd X 海外展開(海外自社販売体制の構築)の実現に向けたステップ
- ▶ Aadi Bioscience, Inc. は、「KP-001」の米国事業成功に必須の希少疾患領域での販売基盤及びノウハウを有している  
※米国にて「KP-001」のPⅢ試験を開始(終了予定:2028年2月)
- ▶ 既販売製品「FYARRO」の売上に加え、Aadi社とのシナジー効果を見込んだ海外展開品の確保の可能性

## 環境にやさしい農薬の提供によりグローバルでの食糧生産に貢献

### ポリオキシシン

#### 土壌放線菌由来の天然物質農薬

- ▶ 果樹・野菜の幅広い病気に有効
- ▶ 安全性が高く、複数の国で有機作物用農薬として登録を取得

農薬登録国 **11カ国**

有機認証登録国 **4カ国**

(米国・ニュージーランド・オーストラリア・カナダ)



世界的なSDGsの  
取り組みの高まりを  
追い風にして



### 2031年の目標

ポリオキシシンを中心に  
農業薬品全体 売上高

**100億円**



### EU市場に参入、拡大

農薬基準の厳しいEU農薬  
登録を目指し、現在申請中



- ▶ 北米や新市場での伸長
- ▶ 日本国内での使用促進

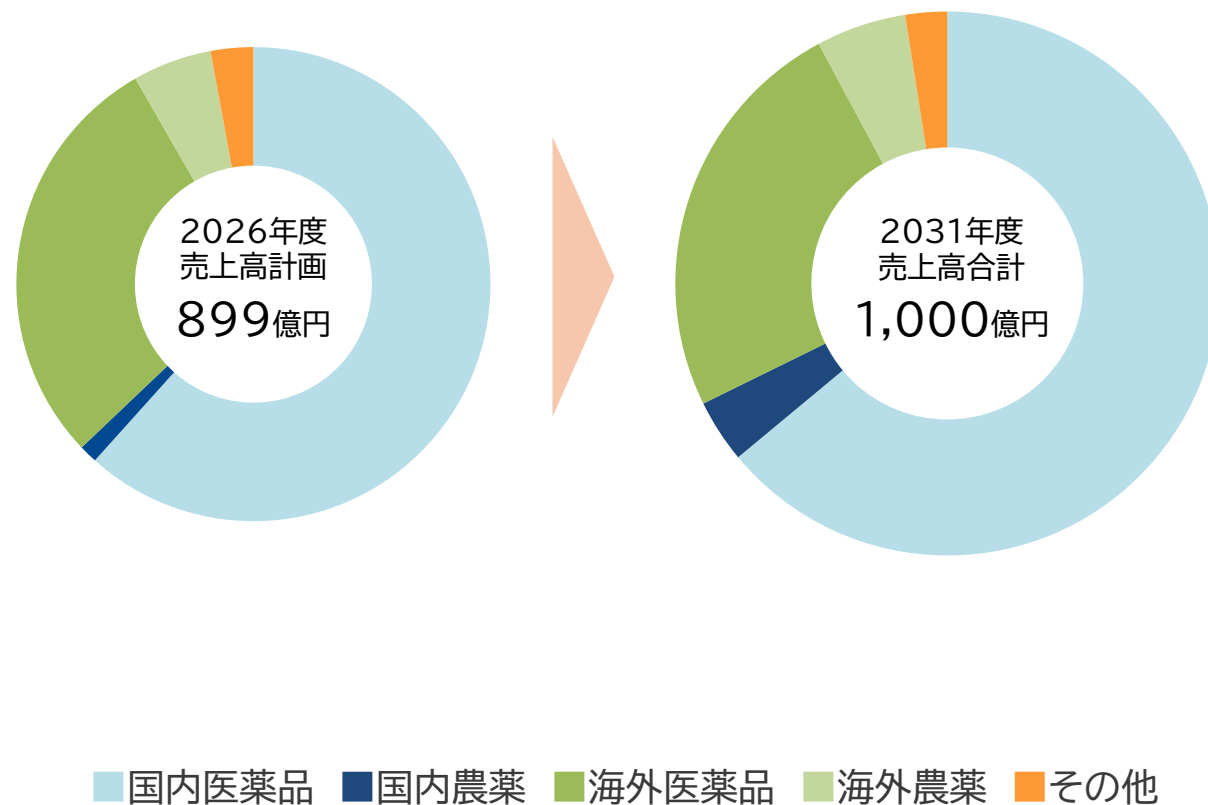
# 「長期経営計画2031」 経営目標

## 業績目標

|                      | 2026年度<br>計画 | <u>2031年度</u> |
|----------------------|--------------|---------------|
| 売上高                  | 899 億円       | 1,000 億円      |
| 営業利益                 | 79 億円        | 285 億円        |
| ROE                  | —            | 10 %以上        |
| 海外売上高比率 <sup>※</sup> | 34.1 %       | 30 %以上        |

※ 海外売上高比率は医薬品・農薬の合計

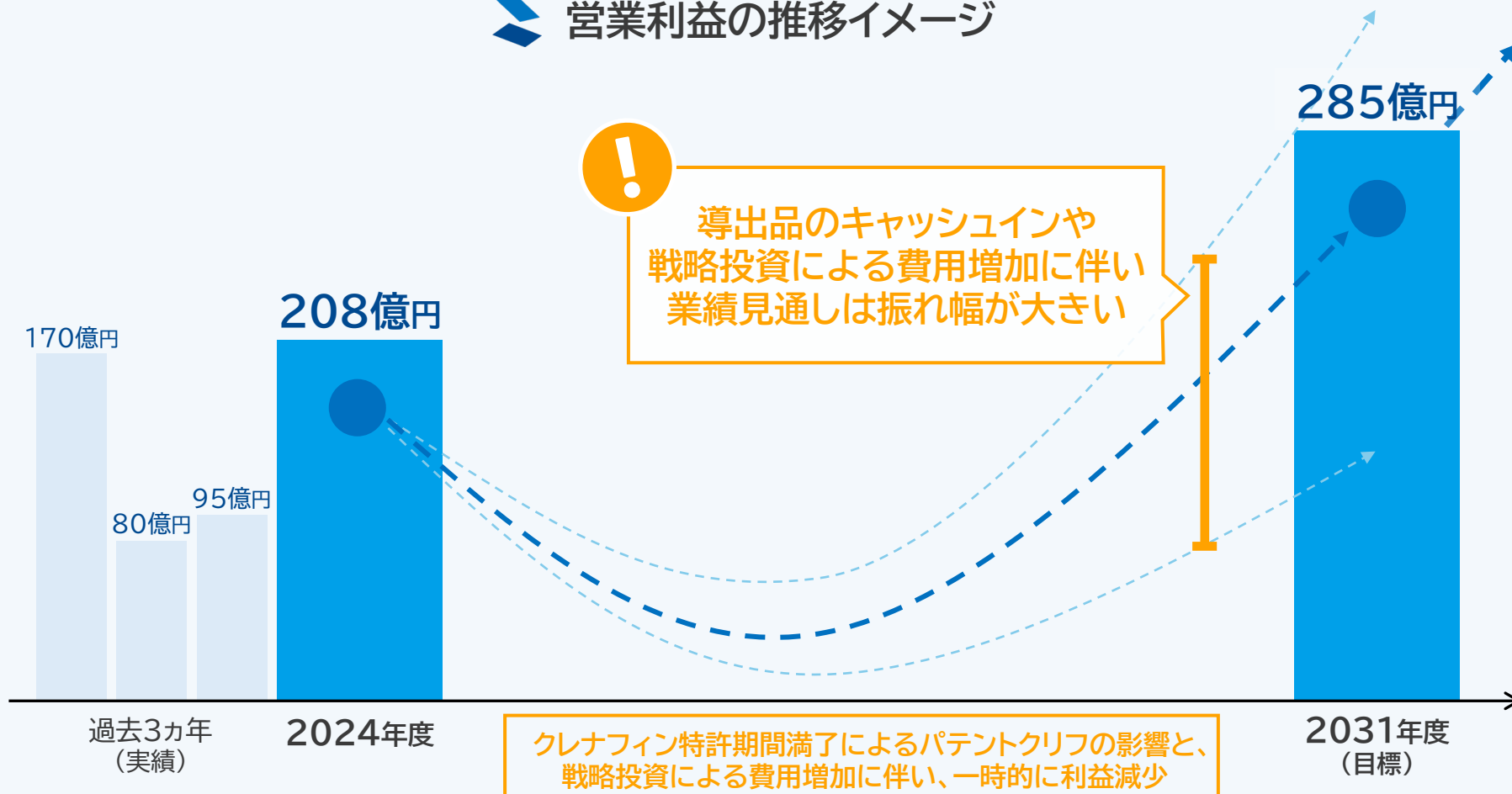
## 売上高目標の比率推移イメージ



# 「長期経営計画2031」 期間中の業績動向イメージ

一時的な利益減少期を乗り越え、戦略投資とパイプライン成果で着実に利益成長を実現し、2031年度285億円を目指す。

## 営業利益の推移イメージ



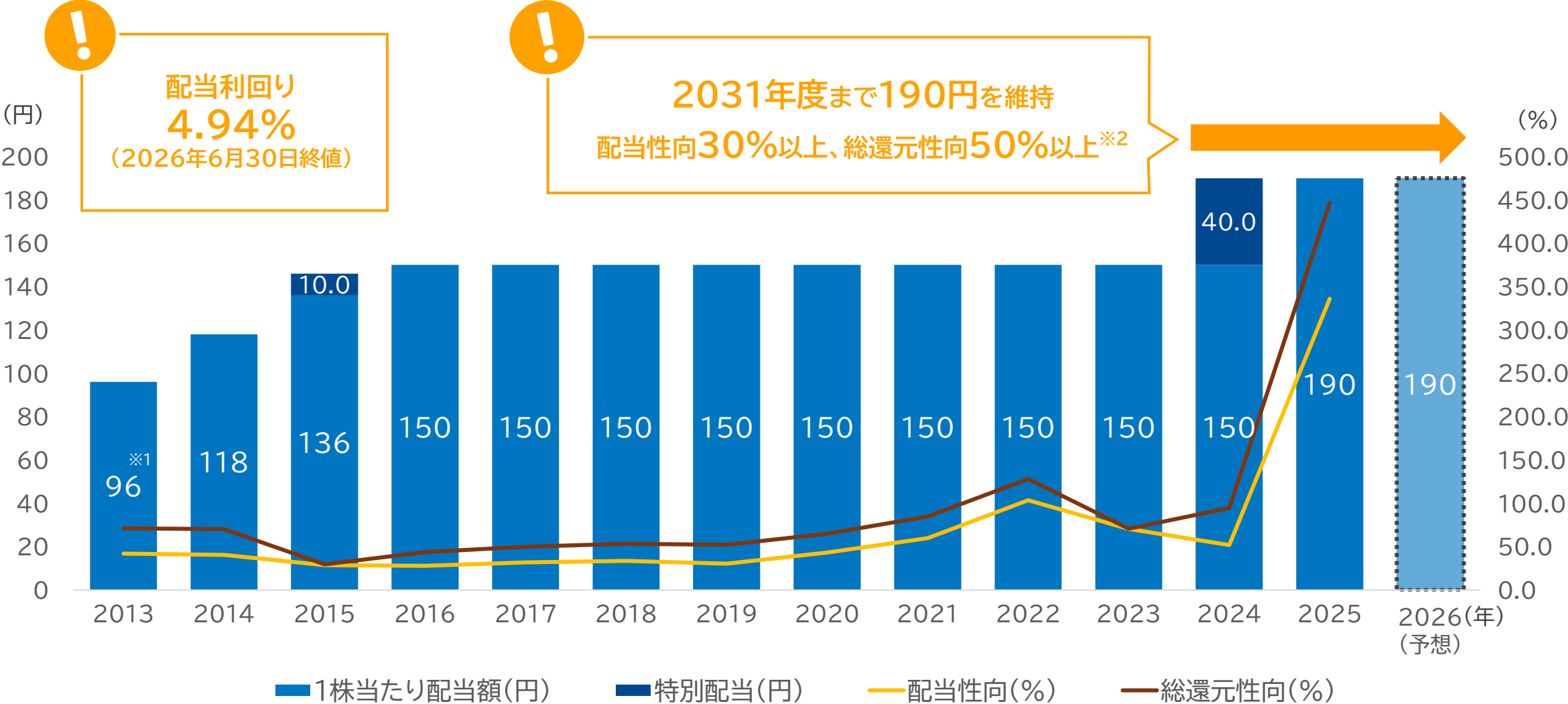
新薬の上市・海外展開を通じて利益成長を図る

- ▶ エクテリー
- ▶ シルクエラスチン
- ▶ KAR
- ▶ KP-001(日米)
- ▶ KC-8025
- ▶ ESK-001
- ▶ ナベニバルト
- ▶ gMSC1

4

株主還元

# 株主還元



※1 2015年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合が行われたため、それ以前の配当金額は併合の影響を考慮した額にしております。

※2 IFRSを導入予定のため、親会社株主に帰属する当期純利益から戦略投資にかかる一時金等の影響を除いて算出は行っておりません。

# 「あなたに笑顔」 科研製薬の願いです

科研製薬は、一人でも多くの方に笑顔を取りもどしていただくために、  
優れた医薬品の提供を通じて、患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に努めています。  
そのために私たちは、規模の大きさではなく「最優」であることを常に目指しています。  
患者さん・社会・社員の三者それぞれに「よろこび」を創出する企業でありたい。  
そして、活力にあふれた科研製薬ならではの存在感を発揮し、  
社会に貢献していきたいと考えています。



科研製薬株式会社